

## サイクルトレインの全国事例調査を踏まえた実施状況および実施課題について

大日本コンサルタント株式会社 正会員 河原 啓晋 富田 洋史 ○小路 泰広  
奈良県道路建設課 非会員 辻本 尚樹 荻本 佑樹（現こども支援課） 谷 碧衣

## 1. はじめに

「奈良県自転車活用推進計画」に位置づけられた「サイクルトレイン等の実施に向けた検討」（措置6）に関して、奈良県の実情に応じた行政支援のあり方や実施スキームについて検討するにあたり、全国のサイクルトレイン実施事例を調査するとともに、特に上下移動をはじめとする導入課題や対処方法について実態を把握して整理したので報告する。

なお調査方法としては、まとめサイトや鉄道会社HPから情報収集し、個別事項についてヒアリングを実施した。（調査実施時期が2021年9月頃のため、その後の新規実施や運行内容の変更等には対応していない点にご留意願いたい。）

## 2. サイクルトレイン実施状況

## (1) 地域別の実施状況

実証実験中の路線を合わせると、東北地域で9路線、関東地域で10路線（うち実証実験中が2路線）、中部地域で11路線、近畿地域が2路線、中部地域で11路線、近畿地域では5路線（うち実証実験中が1路線）となっている。1日あたりの乗降客数は、観光列車（専用列車）を除く38路線で見ると10,000人未満が6割以上を占める。

## (2) 運行区間や実施曜日・時間帯

運行区間は、始発～終着駅の全区間でサイクルトレインを実施している路線が約半数となっている。利用人数が多い等の理由で一部利用（乗降）不可としている駅がある路線が約2割となっている。

実施曜日は、平日及び土日祝日の全日実施が約8割、土日祝日のみの実施が約2割となっている。1日あたり乗降客数別にみると、3,000人未満の路線では、すべての路線で全日実施となっている。

なお、平日実施の路線は、朝・夕の通学・通勤等での混雑時間帯の利用を不可としている路線が大半を占める。

## (3) 自転車持ち込み料金と事前予約の有無

観光列車（専用列車）を除く38路線中、無料が約8割、有料が約2割となっている。1日あたり乗降客数が比較的多い路線では有料が多い。有料の場合は、100～300円が多い。

事前予約については、不要が約7割、必要が約3割となっている。予約不要でも、団体での利用の場合は事前に連絡を必要としている路線が多い。（予約不要の27路線中、17路線）

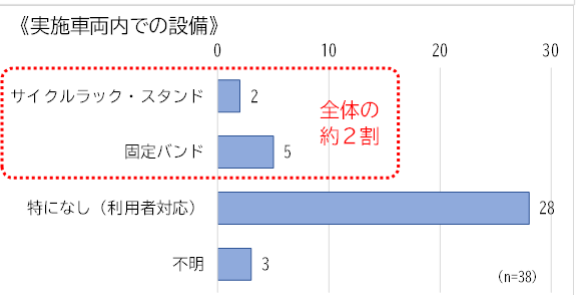
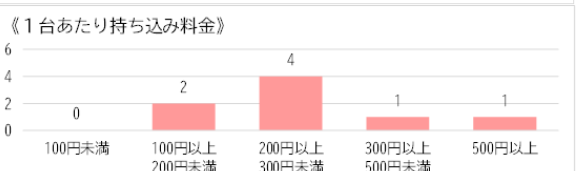
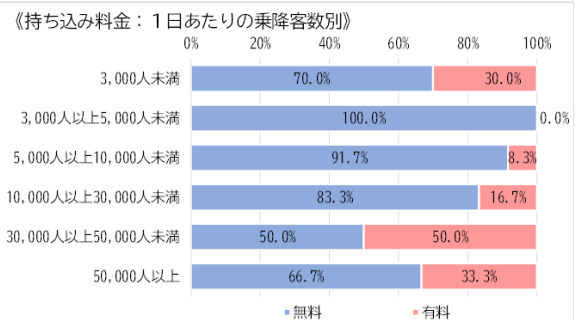
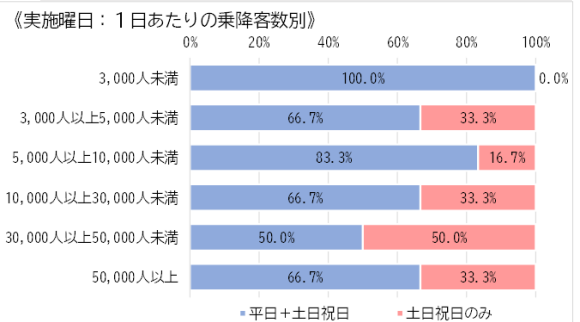
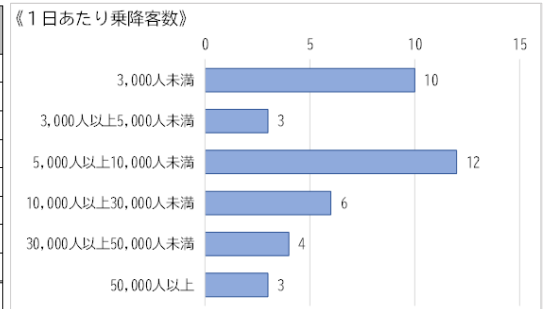
## (4) 実施車両と車両内の設備

観光列車（専用列車）を除く38路線では、全てが一般乗客との混載となっている。予約不要の27路線では乗車可能台数が決められていることが多い（予約不要の路線27路線中、17路線）。

また、乗り込み可能な車両やドアが指定されている路線が多い（予約不要の27路線中、23路線）。

車両内の設備は、サイクルラック・スタンドの設置が2路線、固定バンドの設置が5路線、乗車中は利用者自身に自転車を支えてもらっているなど、特に対処をしていないが約8割となっている。

地域	実施中	うち観光列車	実証実験中
北海道	0	0	0
東北地域	9	0	0
関東地域	8	1	2
中部地域	11	0	2
近畿地域	4	0	1
中国地域	2	1	0
四国地域	3	0	1
九州地域	3	0	0
合計	40	2	6



キーワード サイクルトレイン 奈良県自転車活用推進計画 上下移動

連絡先 〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3 三番町UFビル4F 大日本コンサルタント(株) インフラ技術研究所 TEL 03-6850-0065

### 3. サイクルトレイン実施に係る課題

サイクルトレイン実施に向けて様々な課題が存在するが、なかでも自転車の移動の障壁になりうる上下移動に着目して鉄道事業者へのヒアリングを行い、上下移動の状況や対処内容その他の課題について把握した。結果は以下のとおり。

#### (1) 上下移動の状況（複数回答）

※ヒアリングに回答いただいた29路線を対象

駅舎について上下移動のない平面駅のみでの実施路線は4路線となっており、大半の路線で何らかの上下移動があるとの回答となっている。上下移動の内容としては、橋上駅・地下駅のある路線が5路線、跨線橋や地下道でのホーム移動のある路線が4路線、その他の上下移動がある路線が11路線となっている。

#### (2) 上下移動に対する対処内容

※(1)で橋上駅・地下駅、跨線橋や地下道でのホーム移動のある駅があると回答した9路線を対象

上下移動のある駅舎がある9路線における自転車移動の対処策では、エレベーターの設置が4路線となっており、バリアフリー化の対応として設置したエレベーターを活用している場合が多く、サイクルトレイン実施にあたり新たに設置した路線はみられない。利用者自身に自転車を担いで階段を昇降してもらっているなど、特に対処をしていない駅舎があるとの回答も5路線あった。

#### (3) 駅員への負荷

駅員の追加作業負荷や加配はすべてのサイクルトレイン実施事業者で「無し」と回答されており、車両への乗り入れや高架がある場合の上げ下ろしなども、利用者自身が実施しているとの回答であった。

#### (4) サイクルトレイン実施にあたってのメリット・トラブル等

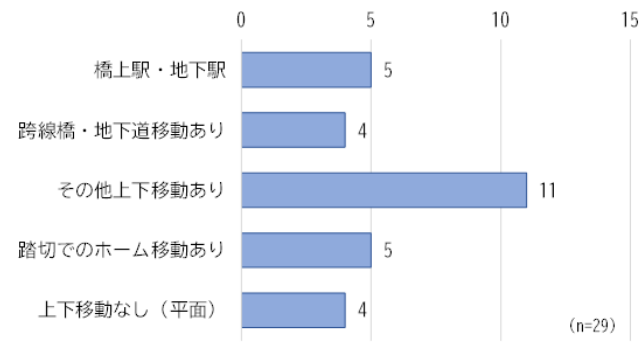
メリットでは、利用者からの満足の声が多く、サイクリング愛好家の団体での利用により、利用者や周辺地域への観光客の増加につながっているとの意見が多い。また、駅で実施しているレンタサイクルとの連携などにより、利用者の行動範囲の広がりがみられたという意見がある。

トラブルとしては、大きなトラブルがあったという回答はなかったが、利用者や一般乗客からの下記の要望や苦情、対応に苦慮する点があるとの回答があった。

- ・利用不可の駅や時間帯を設けている場合に、誤って利用してしまう人がいたり、利用便数や範囲の拡大を望む利用者が多い。
- ・1車両5台まで、1便10台までといった台数制限を超えた利用意向があった際の対応に苦慮している。予約の際には、団体を2つに分けてもらうか、お断りするかとなっている。また、予約制にしていない場合は、ホームで次の便を待ってもらうこともある。
- ・車両内を移動する際にタイヤやチェーンで他の乗客の衣服等が汚れたことによる苦情が発生したことがある。
- ・雨天時に利用不可としているが、雨天時にこそ利用したいという要望が多い。
- ・車両内では利用者が管理することとしているが、席を離れてしまうことがあり、対応に苦慮することがある。
- ・場所取りで小さなトラブルがあった。

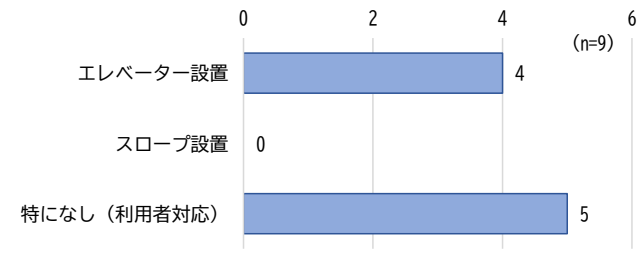
など

《対象路線の状況》



※その他上下移動とは…改札を抜けてホームまでに数段の階段がある駅

《上下移動に対する対処内容》



### 4. おわりに

サイクルトレイン事例調査に基づく全国的な実施状況や課題等について整理した結果を紹介した。課題は他にもあるため、更なる詳細な調査や鉄道事業者との意見交換等を通じて、奈良県としての支援方策について検討していきたい。

最後に、今回のヒアリング調査に対してご丁寧な対応を頂いた鉄道事業者の皆様へ感謝いたします。

#### 参考文献

- ・金利昭・中島一貴：「地方鉄道への自転車持ち込みに関する事例調査」、『国際交通安全学会誌』23巻4号
- ・奈良県：「自転車活用推進計画」(<https://www.pref.nara.jp/55969.htm>)
- ・サイクルトレインまとめサイト (Wikipedia「サイクルトレイン」：<https://ja.wikipedia.org/wiki/サイクルトレイン>) など
- ・サイクルトレインを実施している各鉄道会社のHP